



市内各神社で
六月灯を開催

■7月下旬から8月上旬にかけて、市内の各神社で鹿児島の夏の風物詩六月灯が開催されました。南方神社や妙見神社では、境内に茅の輪が設置され、8の字に3回通ることで穢れが祓われ無病息災になるという茅の輪くりに多くの人が訪れていました。



かつお釣り体験
アドベンチャー

■7月25日、口永良部島近海で行われ、市内の中学生9名が鹿児島水産高校の実習船「拓青」に乗船して、釣り体験を行いました。今回はシイラやツムブリ、カツオなど合計14匹の釣果がありました。



西白沢育成農園でひまわりが満開

■8月上旬ごろ、水尻公園近くの西白沢育成農園で農地の有効利用と地域の活性化を目的として西白沢環境保全会の皆さんが育てたひまわりが満開を迎え、多くの見物客で賑わいました。

中には白いひまわりも！



有限会社枕崎清掃社が
ボランティア清掃を実施

■8月10日、11日の2日間お墓参りで混雑するお盆を前に、有限会社枕崎清掃社が市営墓地のボランティア清掃を実施しました。敷地内や駐車場の草払い、通路に伸びた枝の剪定などを行い、より安全に利用できるようになりました。



稚内みなと南極まつりで枕崎産品をPR
～コンカツプロジェクト稚内市で交流

8月5日から6日の2日間で開催された「稚内みなと南極まつり」において、本市漁協職員2名が参加し、枕崎産品のPRを行いました。

友好都市稚内市とのコンカツプロジェクトの一環で人材交流および枕崎産品の宣伝販売を目的として参加した今回は、ステージでかつおのわら焼きの実演後、抽選で選ばれた5組の来場者に体験を楽しんでもらいました。そのほか、炭火焼たたき、ぶえん鯉、水産高校ラーメン、ポニートチップス、かつおぼつと、また屋のかつおみそ、焼酎など約20品の販売を行い、多くの人で賑わいました。



100歳おめでとうございます
～茶園トミさん（高見町）

8月6日に茶園トミさんが、めでたく100歳の誕生日を迎え、市と社会福祉協議会から花束と祝い金が贈られました。

枕崎出身の茶園さんは、3人の子どもの恵まれ、若い頃は鯉節工場で鯉節を削る仕事をしていました。趣味は畑でいろいろな作物を育てることで、長生きの秘訣は「畑をしていることや、自然が好き、山菜をとること」と話します。これからも元気で長生きしてください。



ピカピカの新船披露と航海の無事祈る
～うえむら漁業生産組合 第五十七豊徳丸新船披露式

7月29日、枕崎漁港内港でうえむら漁業生産組合が建造した第五十七豊徳丸の新船披露式が開催されました。色鮮やかな大漁旗を掲げて入港した新船が接岸すると、船からの餅投げを待つ人や写真を撮る人で賑わいました。その後、航海の安全を願い神事が執り行われたほか、関係者が完成を祝いました。

新船は、省エネ型船型および主機関を導入したほか、音声認識システムやフィッシュポンプなどを搭載して省人化や漁獲物の付加価値向上を図るなど、さまざまな改革により収益性向上を目指す実証事例として、中型まき網漁業の存続・発展と地域経済の振興に寄与することが期待されています。



台風で中止も来年への思い繋ぐ
～さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつり

8月5日、さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりの神事が蛭子神社で開催され、関係者参加の下、航海の安全と大漁、五穀豊穡などを祈願しました。

今年は台風第6号の影響により祭りの開催は中止となりましたが、枕崎商工会議所青年部の皆さんが市内施設への慰問を行い、祭りの雰囲気を感じさせてくれました。その他、実行委員会をはじめとする関係者がエフエム鹿児島のスタジオを訪れ、生放送できばらん海への熱い思いを語り、来年の新たな幕開けへ繋いでいくことを誓いました。また、27日の夜には花火大会が開催され、4年ぶりの三尺玉が夏の夜空を彩りました。



初めてのヨットに子どもたちの笑顔弾ける
～ミシマカップヨットレース出場者の協力で乗艇体験を開催

7月29日に4年ぶりに開催されたミシマカップヨットレース前日の28日、同レースウェルカムパーティー実行委員会の主催で小・中学生を対象とした乗艇体験会が行われました。

レース出場者と今給黎教子さんの協力のもと、約150人が順番に体験し、意外に広い艇内や波の激しさに驚きながらも、ひとときの冒険を楽しみました。夕方にはウェルカムパーティーが盛大に催されたほか、レース当日には、ボランティアの皆さんによって朝食がふるまわれるなど、全国から集まったヨットマンの皆さんを歓迎しました。

